資料５

関係機関取り組み一覧

団体名	取り組み内容
新潟大学医学部保健学科	・思春期世代を対象にした正しい知識の普及啓発 ・プレコンセプションケア推進のための多機関連携ネットワーク構築事業
新潟県産婦人科医会	・現在、女性診療科外来での思春期の月経随伴症に対する取り組み ・日本ナースヘルス研究(JNHS)での思春期の痩せが更年期まで持続すると骨粗鬆症になることの論文報告：Kurabayash T,et al. Importance of changes in body mass index from adolescence to middle age as a risk factor for osteoporosis: the Japan Nurses' Health Study. Menopause 33:767, 2026 ・新潟市民病院での産褥期骨密度検診の結果から、痩せた褥婦は低骨量の女性が多い論文報告：Kurabayashi T, et al. Prevalence of osteoporosis and osteopenia assessed by densitometry in Japanese puerperal women.J Obstet Gynecol Res 47: 1388, 2021 ・JNHSで小さく生まれた子は将来　妊娠高血圧症候群になりやすい：Kurabayash T,et al. Low Birth Weight and Prematurity Are Associated with Hypertensive Disorder of Pregnancy in Later Life: A Cross-Sectional Study in Japan. Am J Perinatol 38:1096, 2021 ・多嚢胞性卵巣症候群の女性は将来生活習慣病になりやすい。Kurabayashi T, et al. Ovarian infertility is associated with cardiovascular disease risk factors in later life : A Japanese cross-sectional study. Maturitas 83: 33, 2016 ・JNHSから妊娠高血圧症候群の既往女性は将来妊娠高血圧症候群になりやすい。Kurabayashi T, et al. Pregnancy-induced hypertension is associated with maternal history and a risk of cardiovascular disease in later life: A Japanese cross-sectional study. Maturitas 75: 227, 2013
新潟県助産師会	・いのちの教育、生と性に関する教育について講座の実施 対象：未就学児、小中高、大学及び専門学校、特別支援学校、保護者等 講座数（令和7年度実績）：432講座、参加者総数29,711人であり、毎年継続して行っている。 ・メール相談「にいがた助産師そうだん」を令和8年4月1日より開始 相談内容は、赤ちゃん・子育て・妊娠・思春期・からだのことについて相談を受けている。
新潟県看護協会	・当会では昨年度から看護職のウェルビーイング向上支援の一環として、プレコンセプションケアを含めた健康支援を実施している。（R7モデル事業の実施、R8モデル事業の報告会、研修会、会員施設への事業費補助） ・県からの受託事業としてエイズ電話相談を実施しているが、その一環として思春期保健相談士による思春期のこころとからだの電話相談を実施している。（毎週土曜日）
新潟県薬剤師会	・「妊娠と授乳と薬」相談対応薬局を新潟県薬剤師会ホームページで紹介し、妊娠前から注意が必要な薬の確認や、妊娠を見据えた薬剤選択、持病（糖尿病、高血圧、甲状腺疾患）など服薬中の患者への継続支援、一般用薬品・サプリメンとの適正使用の相談を薬剤師にできる体制を整備している。 ・葉酸摂取（神経管閉鎖不全の予防）、鉄分、カルシウムなどの必要性、サプリメント（ビタミンAなど）の過剰摂取への注意喚起など薬局で実施。 ・ワクチン接種に関する正しい情報提供 ・PMSや重度の月経痛、経血量が多く貧血を疑う等の症状を訴える生徒や女性を必要に応じて婦人科医療機関へつなぐ（ハブとしての機能）。 ・要指導医薬品である緊急避妊薬（望まない妊娠を防ぐ薬）に関して、県民に対して正しい情報提供、及び、販売店での適正な販売。（相談支援の場として）
新潟県学校保健会	・思春期健康講演会 思春期における上手なコミュニケーションや相手の人権を尊重する関係づくりについて考える機会とした。 R7年度：デートDV防止セミナー R8年度：こころの健康づくり（SOSの出し方に関する教育）・・・実施予定 ・性に関する指導の実施 保健教育・学級活動・道徳・関連教科における集団指導と個々の生徒の状況等に応じた個別指導の実施。

関係機関取り組み一覧

団体名	取り組み内容
新潟県小学校長会	・「生命（いのち）の安全教育」の推進 ・性被害や性的いじめを防ぐ授業の実施 ・「性の健康講座」「命の授業」など医師や助産師、専門家による出前講座の活用
新潟県中学校長会	・思春期世代を対象にした正しい知識に関する授業（全学年） ・性や健康、妊娠・出産等に関する講話（３年生） ※別添資料あり
新潟産業保健総合支援センター	・産業医向けセミナー「女性の健康面に配慮した職場環境をつくるために」 講師　森川 香子　先生 ・産業保健職向けセミナー「女性の健康面に配慮した職場環境をつくるために」 講師　森川 香子　先生」 ・厚生労働省よりのパンフレット配布「働く女性の心と体の応援サイト」等
PLAUGH	・乳幼児期から大人までを対象にした正しい知識の普及啓発（包括的性教育講座の実施） ・10代20代向けまちの保健室「ユースクリニックにいがた」およびユース向け食堂「よりみち堂」の実施（ユース世代が安心して性や生殖、健康に関する情報にアクセスしやすくするための環境整備と関係性構築） ・従業員に向けた一般健康診断やがん検診の受診勧奨、生活習慣病予防の保健指導 ・企業や管理職向けの女性の健康課題に関する普及啓発 ・SNSを活用した性に関する情報発信 ※別添資料あり
新潟市こども未来部 こども家庭課	・思春期世代を対象にした正しい知識の普及啓発 小学生、中学生、高校生を対象とした思春期健康教育 ・プレコンセプションケアの普及啓発 市ホームページに啓発ページ作成、市lineの発信、職員にプレコンサポーターの周知 ・中学生への統一した健康教育資料の作成 市助産師会に委託、市産婦人科医会及び新潟大学医学部保健学科に監修依頼 ・庁内の関係部署との連絡会議 保健所、教育委員会、区役所、男女共同参画課での取組み共有 ・関係者向けのプレコンセプションケアの研修会 ・職員向けプレコンサポーターの周知及び受講のすすめ
長岡市教育委員会子ども未来部 子ども政策課	・命の教育（保育園・幼稚園の児童、保護者、職員向け講座） ・乳幼児期から始める性教育（保育士を対象にした講座） ・自分を大切にする「性の健康講座」（主に小中学生対象） ・「次代の親育成事業」（中学生を対象に、命の話と赤ちゃんとのふれあい講座） ・「ながおかウェルネス事業」（青壮年期向け健康づくりの啓発） ・妊娠・出産等に関する情報発信
上越市こども・子育て部 こども家庭センター	・命きずなを考える講座：市内全中学校において性の発達及びそれに伴う健康問題についての健康教育を実施（R7:22校で実施） ・思春期保健講座：希望のあった高等学校において性の発達及びそれに伴う健康問題についての健康教教育を実施（R7:10校で実施） ・市内医療機関の医師の協力により、子どもに関わる従事者向けのプレコンセプションケア研修を実施（R7：１回実施）